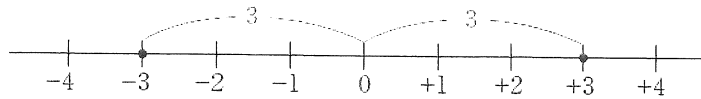


1-5 絶対値

1 正負の数

Point!

① 数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の 絶対値 という。



+3の絶対値は3

-3の絶対値は3

0の絶対値は 0 ㊟

② 絶対値を求めるときは、その数から+、-の符号をとる。

Warm Up

次の問いに答えなさい。

(1) 次の数の絶対値を答えなさい。

① -6

② +3.5

③ 0

(2) 絶対値が次の場合、その数はいくつか答えなさい。

① 2

② 0.5

③ 0

(3) 絶対値が2より小さい整数を小さいほうから順に答えなさい。 **よくあるまちがい**

④ 次の数について、下の問いに答えなさい。

-4, +0.2, 0, $-\frac{4}{5}$, -1, $+\frac{4}{3}$, 0.8

① 絶対値が等しい数を答えなさい。

② 絶対値がもっとも大きい数を答えなさい。

解説 (1) ① 6 ② 3.5 ③ 0 絶対値を求めるときは、その数から+、-の符号をとる

(2) ① +2, -2 +と-の符号をつける

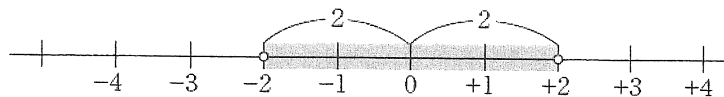
② +0.5, -0.5

③ 0 0の絶対値は0

(3) **よくあるまちがい**

正 数直線をかいて、原点からの距離が2より小さい整数を答える。

「2より小さい」ということは、2は入らないことに注意する。



-1, 0, +1

誤 -2, -1, +1, +2 0を忘れないようにする
 ・-2, +2が入っている
 ・0が入っていない

(4) ① $0.8 = \frac{8}{10} = \frac{4}{5}$ なので、 $-\frac{4}{5}$ と0.8 小数は分数にして考える ② -4

Try

次の問いに答えなさい。

(1) 次の数の絶対値を答えなさい。

- ① +15 ② -7 ③ +1.5 ④ $-\frac{1}{3}$ ⑤ 0

(2) 絶対値が次の場合、その数はいくつか答えなさい。

- ① 3 ② 5.5 ③ 0

(3) 絶対値が5以下の整数を小さいほうから順に答えなさい。

★(4) 次の数について、下の問いに答えなさい。

$$-\frac{6}{5}, -2.4, -0.8, 0, +1.2, \frac{4}{3}$$

- ① 絶対値が等しい数を答えなさい。 ② 絶対値がもっとも大きい数を答えなさい。

Exercise

次の問いに答えなさい。

(1) 次の数の絶対値を答えなさい。

- ① +4 ② -5 ③ +0.2 ④ -4.5 ⑤ $+\frac{4}{9}$ ⑥ $-\frac{3}{7}$ ⑦ 0

(2) 絶対値が次の場合、その数はいくつか答えなさい。

- ① 7 ② $\frac{1}{3}$ ③ 5.3 ④ 0

(3) 絶対値が4より小さい整数を小さいほうから順に答えなさい。

(4) 絶対値が3以下の整数をすべて書きなさい。

★(5) 次の数について、下の問いに答えなさい。

$$-3, +4, -4.8, 2.5, 0, -0.1, -0.01, \frac{1}{10}$$

- ① 絶対値が等しい数を答えなさい。 ② 絶対値がもっとも大きい数を答えなさい。

★(6) 次の数について、下の問いに答えなさい。

$$+0.3, -3, 5, -\frac{1}{2}, -\frac{3}{10}, 0, +8, \frac{1}{5}$$

- ① 絶対値が等しい数を答えなさい。 ② 絶対値がもっとも小さい数を答えなさい。

(7) 次の()にあてはまることばを書きなさい。

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の()という。